

会員投稿

群馬菱の実会だより

菱の実会 秋の親睦旅行 [10月25日(水)、26日(木)]

『ときわ路二本松菊人形といわき湯本温泉』

菱の実会の恒例行事、秋の親睦旅行『ときわ路二本松菊人形といわき湯本温泉』の旅にいってきました。今年の参加は会員32人、労組、会社、事務局から3人の合計35人でした。この日は、あいにく朝からの雨でしたが予定通り出発、途中、JR小山駅で2人の会員と無事合流し、一路最初の目的地である西山荘に向かいました。

ここは、徳川光圀が亡くなるまでの10年間、隠居生活を送った場所で、到着する頃には雨もあがり、ひっそりと木立に囲まれた西山荘は、華美を嫌った光圀の心が伝わってくるようでした。この後、野口雨情の記念館を見学、ガイドさんの「みだれ髪」の歌に“酔い”ながら、美空ひばりの歌で有名になった塩屋岬に到着、歌碑の前で記念写真をとり、予定時刻には宿泊地のいわき湯本温泉のホテル浜徳につきました。

翌日は「いわきララミュ」で海産物のお土産を買い、常磐道、東北道の高速道路を乗継ぎ、二本松市の霞ヶ城公園で開催されている「二本松菊人形」の見物です。城跡の公園内に設けられた菊人形会場は、NHKで放映されている「葵徳川三代」を、12の場面で美しく飾っており、菊の季節には若干早く、花も充分開ききっていましたが、解説を読みながらドラマを見ているような気持ちで展示物を見てまわりました。

昼食は、郡山市西田町にある旅行会社お勧めの「かんのや文助本店」で、献立は、そばに天ぷらと季節の煮物が付いたものでしたが、さすがにお勧めの店で、また、来たいので地図が欲しい、そば粉は無い等の注文が出ていました。

後で聞いた話では天ぷらに添えられていた、色づいたもみじの葉は、店の主人が裏磐梯に行って取ってきたものだそうです、主人の料理に対する意気込み・心配りが感じられたものでした。

久しぶりの再会に話が弾み、会員の絆がより一層深まり、お互いの健康と再会を誓いあい、そして、心もお腹も満足した素晴らしいバス旅行でした。

